

# 混雑空港運航許可申請事案補足 説明資料

## 【関西国際空港】

令和元年12月3日

航空局航空ネットワーク部航空事業課

# 関西国際空港の概要

## 沿革

- ・ 昭和49年 8月 関空の位置決定。
- ・ 昭和57年12月 関空事業に着手。
- ・ 平成 6年 9月 関西国際空港供用開始。
- ・ 平成 7年12月 二期事業に着手決定。
- ・ 平成19年 8月 B滑走路供用開始。  
(我が国初の完全24時間運用可能な国際拠点空港)
- ・ 平成21年 4月 2期国際貨物地区供用開始。
- ・ 平成24年 7月 新関西国際空港株式会社が設置管理者となり、  
大阪国際空港との一体運用を開始。
- ・ 平成28年 4月 関西エアポート株式会社による運営開始。

○空港位置図 大阪湾南東部 泉州沖海上



## 現況

- 設置管理者：新関西国際空港株式会社
- 滑 走 路：(A)3,500m  
(B)4,000m
- 運 用 時 間：24時間

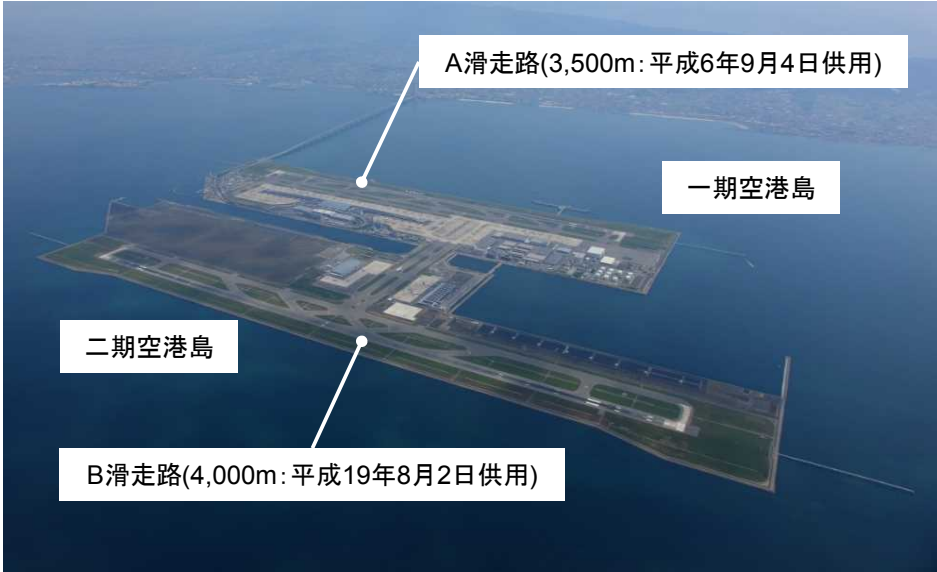
## 事業概要

### ○1期事業の概要

- (1) 規模
  - ① 滑走路 3,500m 1本
  - ② 面積 約510ha
- (2) 事業費 1兆4,582億円  
(開港までの出資対象事業費)

### ○2期事業の概要

- (1) 規模
  - ① 滑走路 4,000m 1本
  - ② 面積 約545ha
- (2) 事業費 9,071億円  
(これまでの出資対象事業費)





# 航空会社の概要(1)

会社名	ANAホールディングス(株) (スターアライアンス) 	日本航空(株) (ワンワールド) 
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本マスタートラスト信託銀行(信託口) 4.2%</li> <li>・日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) 3.0%</li> <li>・名古屋鉄道 2.3% 他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本マスタートラスト信託銀行(信託口) 5.7%</li> <li>・日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) 4.5%</li> <li>・京セラ 2.1% 他</li> </ul>
保有機材	大型機 50機 中型機 108機 小型機 83機 リージョナル機 24機      合計265機 (H31.4.1時点)	大型機 40機 中型機 77機 小型機 65機 リージョナル機 56機      合計238機 (H31.4.1時点)
許可等 取得日	(国内) 昭和28年10月15日 (国際) 昭和61年 1月31日	(国内) 昭和27年10月20日 (国際) 昭和28年 8月14日
運航路線	(国内) 120路線 (国際) 89路線 ※貨物専用路線を含む	(国内) 116路線 (国際) 56路線
グループ 企業	エアージャパン(AJX) ANAウイングス(AKX) ピーチ・アビエーション(APJ)(※) バニラ・エア(VNL)(※)	ジェイ・エア(JAR) 日本エアコミューター(JAC) 日本トランスオーシャン航空(JTA) 琉球エアコミューター(RAC) 北海道エアシステム(HAC) ジェットスター・ジャパン(JJP)(※) ZIPAIR Tokyo(TZP)(※)

(※)印の航空会社はLCC(低コスト航空会社)で、上記の保有機材、運航路線には含まれない

## 航空会社の概要(2)

会社名	日本トランスオーシャン航空(株) 	(株)スターフライヤー 
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本航空 72.8%</li> <li>・沖縄県 12.9% 他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ANA ホールディングス 17.9%</li> <li>・TOTO 4.8%</li> <li>・高橋 慧 4.0% 他</li> </ul>
使用機材	<p>ボーイング737-800型機(165席) 12機</p> <p>ボーイング767-300型機(237席、261席) 13機(13機)</p>	<p>エアバスA320型機(150席) 12機</p>
許可等 取得日	昭和48年7月17日	平成18年1月12日
運航路線	<p>羽田＝宮古、石垣          関西＝那覇、石垣          福岡＝那覇          那覇＝小松、中部、岡山、久米島、宮古、石垣</p> <p>【国内 計11路線】</p>	<p>羽田＝北九州、関西、福岡、山口宇部          福岡＝中部          那覇＝北九州</p> <p>【国内 計6路線】</p> <p>中部＝桃園          北九州＝桃園</p> <p>【国際 計2路線】</p>

# 航空会社の概要(3)

会社名	Peach Aviation(株)	ジェットスター・ジャパン(株)
会社名	Peach Aviation(株)	ジェットスター・ジャパン(株)
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ANAホールディングス 77.9%</li> <li>・産業革新機構 15.1%</li> <li>・First Eastern Aviation Holding Limited 7.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本航空 50.0%</li> <li>・カンタスグループ 33.3%</li> <li>・東京センチュリー 16.7%</li> </ul> ※比率は議決権ベース
使用機材	エアバスA320(180席) 28機	エアバスA320(180席) 25機
許可等 取得日	平成23年7月7日	平成24年4月6日
運航路線	関西＝新千歳、釧路、仙台、新潟、成田、松山、 福岡、長崎、宮崎、鹿児島、那覇、新石垣 成田＝新千歳、福岡、奄美、那覇 福岡＝新千歳、那覇 仙台＝新千歳  新千歳＝桃園 仙台＝桃園 成田＝桃園、高雄 羽田＝仁川、桃園、浦東 関西＝仁川、釜山、桃園、高雄、香港、浦東 福岡＝桃園 那覇＝仁川、桃園、高雄、香港、バンコク  【国内 計19路線】 【国際 計19路線】	成田＝新千歳、庄内、関西、高松、松山、高知、福岡、長崎、 大分、熊本、宮崎、鹿児島、那覇、下地島 関西＝新千歳、高知、福岡、熊本、那覇、下地島 中部＝新千歳、福岡、鹿児島、那覇  成田＝香港、桃園、マニラ、浦東 関西＝香港、マニラ 中部＝マニラ  【国内 計24路線】 【国際 計7路線】

## 関西国際空港の発着調整基準

1. 発着回数は次の回数を限度とする。

1時間の発着回数	45回
うち出発回数	32回
到着回数	25回

2. 航空機の遅延による混雑を吸収するために、発着回数を抑制する時間帯「ファイヤーブレイクゾーン」を設定する。
  - ・ファイヤーブレイクゾーンは、1日2回、それぞれ1時間ずつ設けることとし、各ファイヤーブレイクゾーンにおける発着回数の上限は36回とする。

※2019年冬期スケジュール期間(R1.10.27~R2.3.28)は、金曜日 13:00~13:59及び20:00~20:59に設定

## 航空保安業務提供時間(運用時間)及び利用時間

## 【関西国際空港関係】

空港	運用時間	利用時間	滑走路
成田国際空港	24時間	6:00～24:00	A: 4,000m B': 2,500m
東京国際空港	24時間	24時間	A: 3,000m B: 2,500m C: 3,360m D: 2,500m
新千歳空港	24時間	24時間	A: 3,000m B: 3,000m
関西国際空港	24時間	24時間	A: 3,500m B: 4,000m
福岡空港	24時間	7:00～22:00	2,800m
那覇空港	24時間	24時間	3,000m
釧路空港	13時間	8:00～21:00	2,500m
仙台空港	14時間	7:30～21:30	A: 1,200m B: 3,000m
新潟空港	14時間	7:30～21:30	A: 1,314m B: 2,500m
松山空港	15時間	7:00～22:00	2,500m
高知空港	14時間	7:00～21:00	2,500m
長崎空港	15時間	7:00～22:00	3,000m
熊本空港	14時間	7:30～21:30	3,000m
宮崎空港	14時間	7:30～21:30	2,500m
鹿児島空港	15時間	7:00～22:00	3,000m
奄美空港	11.5時間	8:00～19:30	2,000m
宮古空港	13時間	8:00～21:00	2,000m
新石垣空港	13時間	8:00～21:00	2,000m

## 飛行前点検整備等に係る地上滞在所要時間

区分	型式	所要時間
大型JET機	B777	45～55分
	A350	50～55分
中型JET機	B787	45分
	B767	35～45分
小型JET機	B737	35～45分
	A320	30～40分
	ERJ	25分
	CR7	30分
プロペラ機	DHC8	25～35分
	ATR	30～35分

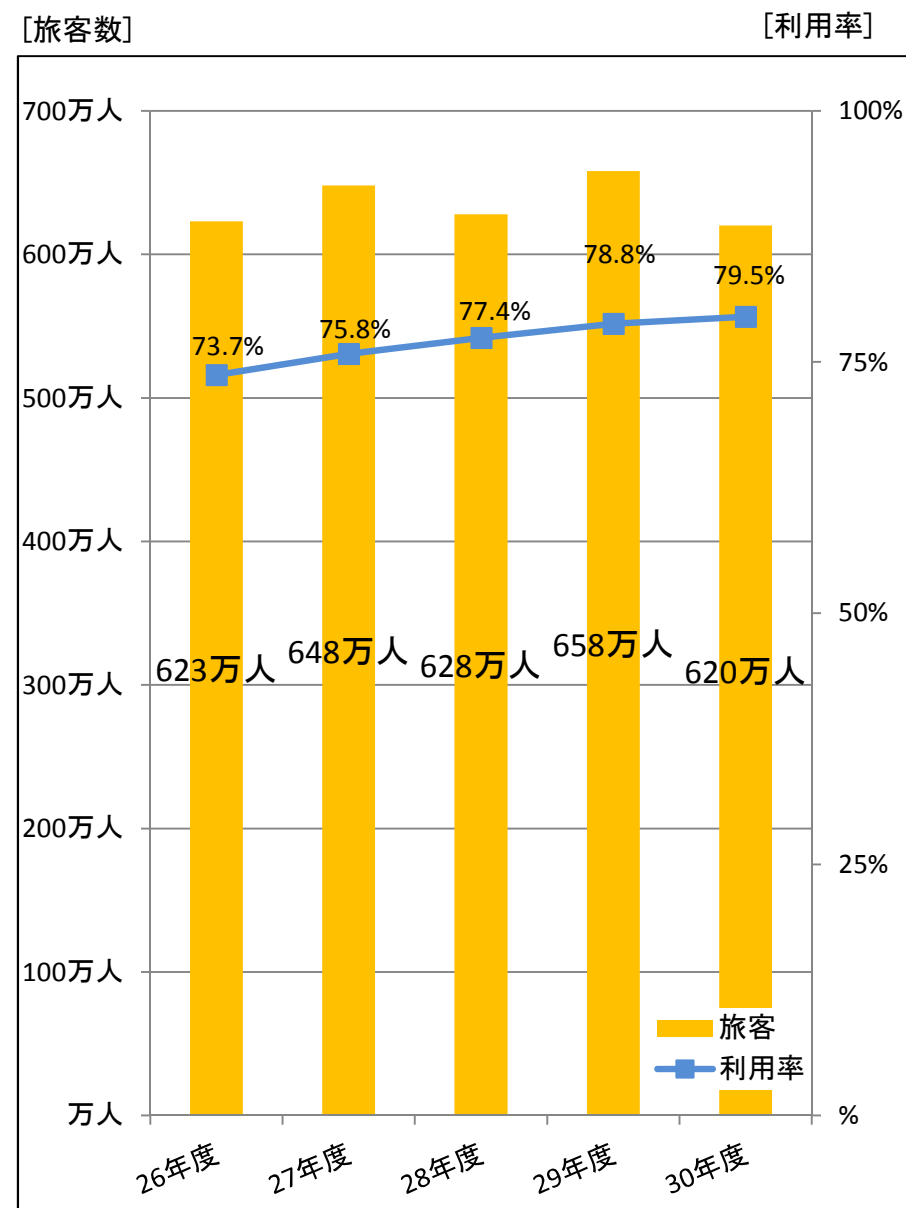
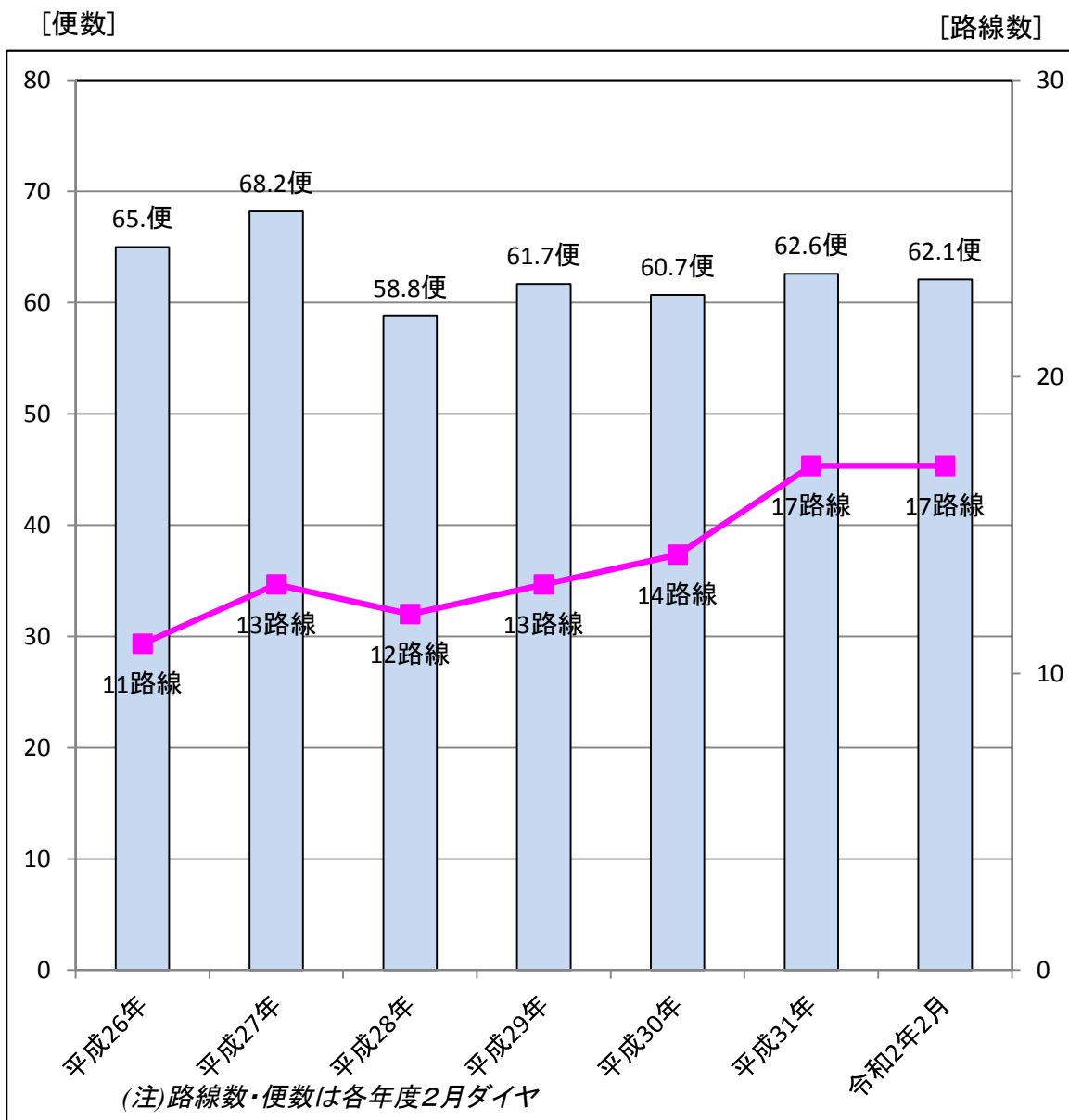
※飛行前点検整備(T check): 毎飛行ごとの出発前に実施され、航空機全体の外観点検、燃料補給、出発態勢の確認を行う。

※航空会社により、所要時間の設定は異なっている。(同じ型式でも空港によって変えているケースもある)



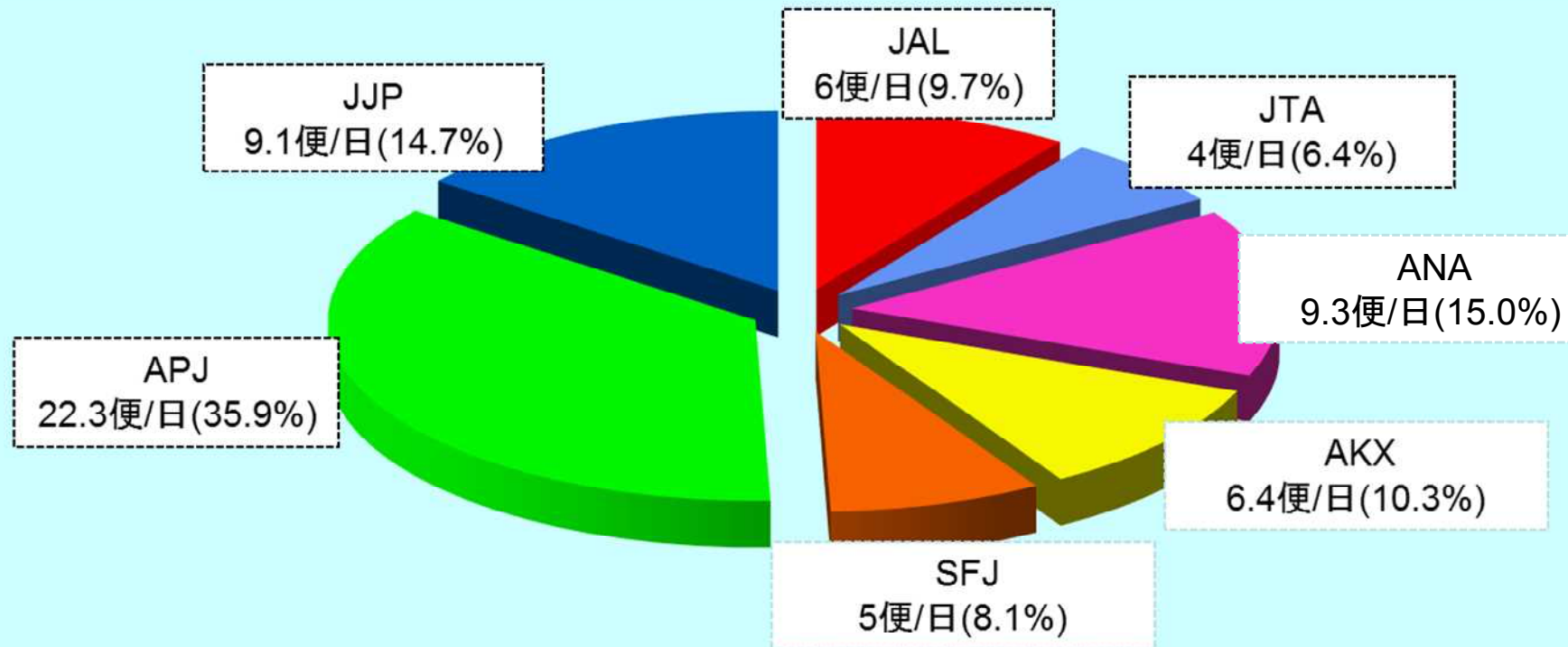
# 路線数・便数・旅客数・利用率の推移

## 【関西国際空港】



## 関西国際空港(国内線)の航空会社別運航回数及びシェア

令和2年2月ダイヤ



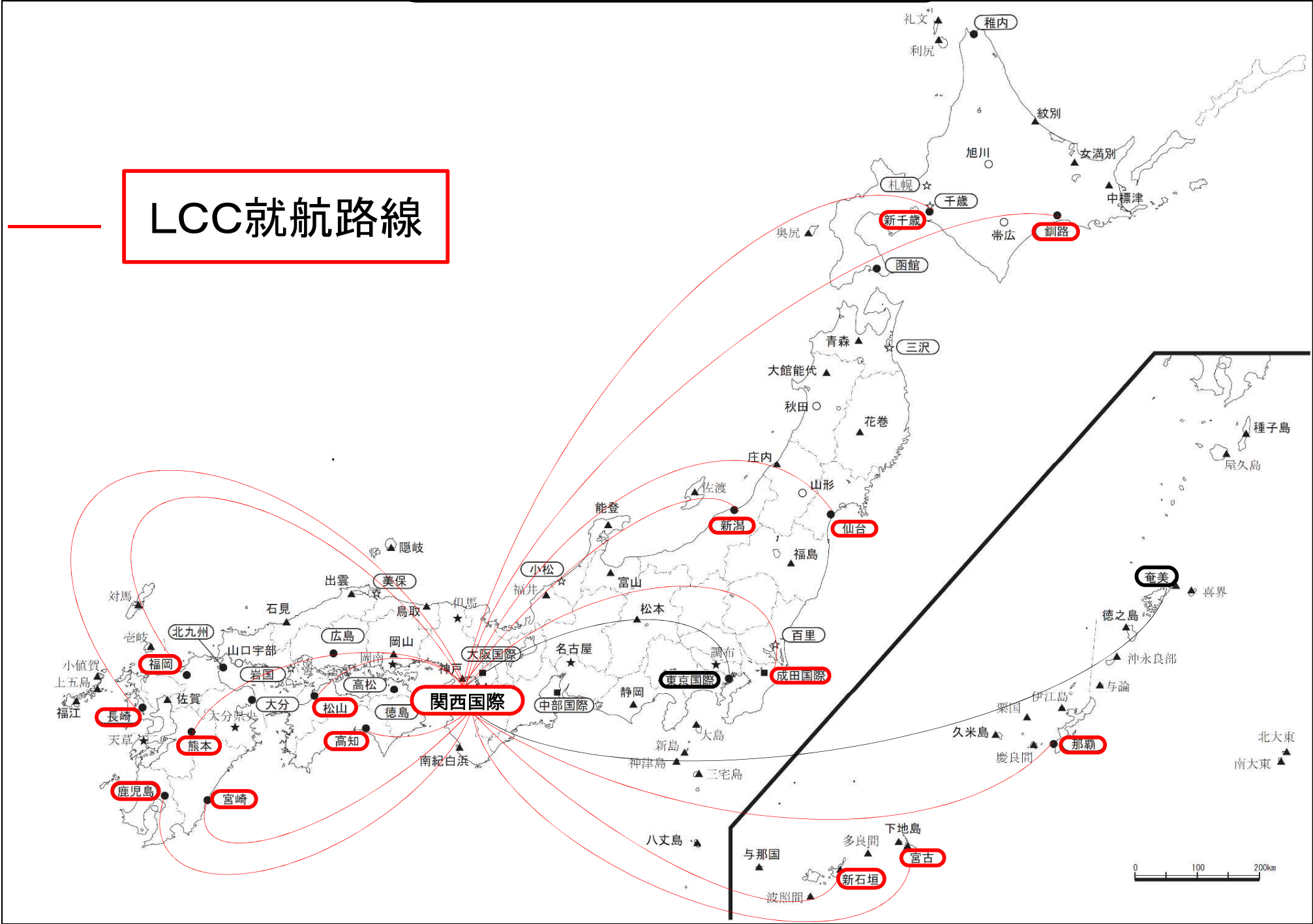
運航便数: 62.1便/日

※JARは共同引受のみで令和2年2月ダイヤ上の運航路線はなし。

# 関西国際空港

## 5. (2)②関係

LCC就航路線



## 21時以降7時までの関西国際空港発着路線

航空会社名	路線		出発時刻	到着時刻
JAL	関西国際空港	～ 東京国際空港	6時40分	7時40分
JAL	東京国際空港	～ 関西国際空港	21時10分	22時35分
JTA	新石垣空港	～ 関西国際空港	20時10分	22時15分
ANA	関西国際空港	～ 東京国際空港	21時05分	22時15分
ANA	東京国際空港	～ 関西国際空港	20時30分	21時50分
ANA	東京国際空港	～ 関西国際空港	21時00分	22時20分
ANA	関西国際空港	～ 那覇空港	0時05分	2時25分
AKX	新千歳空港	～ 関西国際空港	20時20分	22時40分
AKX	那覇空港	～ 関西国際空港	20時00分	21時50分
SFJ	関西国際空港	～ 東京国際空港	6時30分	7時40分
SFJ	関西国際空港	～ 東京国際空港	21時35分	22時50分
APJ	成田国際空港	～ 関西国際空港	20時00分	21時40分
APJ	仙台空港	～ 関西国際空港	20時15分	21時55分
APJ	福岡空港	～ 関西国際空港	21時00分	22時10分
APJ	鹿児島空港	～ 関西国際空港	20時25分	21時35分
APJ	那覇空港	～ 関西国際空港	20時15分	22時10分
JJP	成田国際空港	～ 関西国際空港	20時40分	22時15分
JJP	新千歳空港	～ 関西国際空港	20時45分	23時10分

## 背景・課題

### <関西国際空港(関空)>

[開港日] 平成6年9月4日 [滑走路] 2本 (3,500m, 4,000m)  
 [総発着回数](※) 10.8万回 [総旅客数](※) 1,386万人

国際	1,011万人
国内	375万人

(※)平成23年度(回転翼機を含む)

関空会社管理



### <大阪国際空港(伊丹)>

[開港日] 昭和33年3月18日 [滑走路] 2本 (1,828m, 3,000m)  
 [総発着回数](※) 12.3万回 [総旅客数](※) 1,291万人

(※)平成23年度(回転翼機を含む)

国管理



- 海上空港建設の経緯から、1.3兆円を超える巨額の負債の元利償還が会社経営を圧迫。
- 関西空港の需要拡大を阻害する構造的要因を解決するため、大阪国際空港との関係整理が必要との指摘。

## 「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律」(平成23年5月25日法律第54号)

### 【目的】

- 関西国際空港(関空)及び大阪国際空港(伊丹)の設置・管理を行う**新関西国際空港株式会社(国出資100%)**を設立するとともに、**公共施設等運営権の設定(コンセッション)**を通じた**関空債務の早期かつ確実な返済**を図る。
- これにより、**関空の我が国の国際拠点空港としての機能の再生・強化**及び**関空・伊丹の適切かつ有効な活用**を通じた**関西における航空輸送需要の拡大**を図り、我が国の国際競争力の強化及び関西経済の活性化に寄与する。

○平成24年7月、新関西国際空港株式会社が設立され、関西国際空港・大阪国際空港の経営統合が実現。

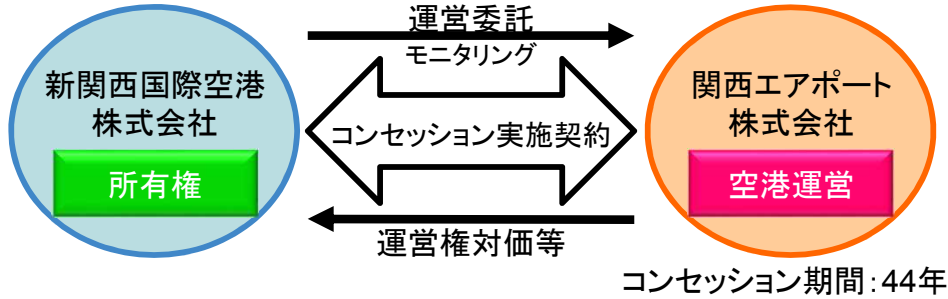
○平成27年12月15日、「オリックス、ヴァンシ・エアポート コンソーシアム」が設立した「関西エアポート(株)」と新関空会社との間でコンセッション実施契約を締結。

○平成28年4月1日より「関西エアポート(株)」による運営開始。

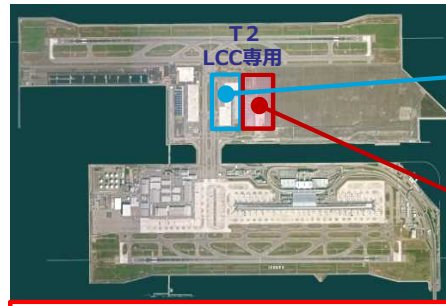
※ヴァンシ・エアポート社:ゼネコンで売上高世界第5位(仏第1位)を誇るヴァンシ・グループの一員。

○平成28年4月から、両空港の運営権者である関西エアポート株式会社による運営が開始されている。これにより、関空債務の早期かつ確実な返済を行い、関空の国際拠点空港としての再生・強化、関西全体の航空輸送需要の拡大を図る。

<平成28年4月1日以後>



### 3. 関空LCCターミナル(T2)の整備



**第2ターミナルビル（国内線）** 平成24年10月28日供用開始

- ・延床面積 約3万㎡（平屋建[一部2階建]）
- ・国内線専用
- ・9スポット

**第2ターミナルビル（国際線）** 平成29年1月28日供用開始

- ・延床面積 約3.6万㎡（平屋建[一部2階建]）
- ・国際線専用
- ・6スポット（小型機であれば11機まで対応可能）

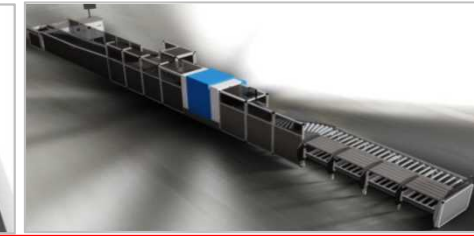
日本初の「ウォークスルー型」免税店、「スマートセキュリティー」システムを導入

ウォークスルー型ショッピングエリア



「スマートセキュリティー」システム

スマートレーン



ボディスキャナー



### 4. 伊丹空港ターミナルビルのリニューアル

50年ぶりのターミナルビルの大規模改修

- ・平成30年4月中央・屋上エリア先行オープン、令和2年夏 グランドオープン
- ・令和2年には、スマートレーン本格運用（現在も試行運用継続中）、ウォークスルー型ショッピングエリア導入の予定



### ○関空第1ターミナルにおけるCIQの整備拡充

入国審査ブースの増設（40ブース→80ブース）

※平成29年1月より

→待ち時間の20分以内達成率（平成30年（暦年）平均）  
約76%



（出典：関西エアポート(株)プレスリリース等）

## ○関空・伊丹コンセッションによる成果

### 1. 旅客数の増加

【関空】平成30年度 総旅客数 2,941万人（過去最高）  
（うち、国際線 2,290万人、国内線 651万人）  
⇒国際線旅客数は運営開始前の平成27年度と比較して約1.30倍

【伊丹】平成30年度 総旅客数 1,630万人(前年比104%)

### 2. 路線拡充（関空）

○ 2019年夏スケジュール 1,548便/週

⇒運営開始前の2015年夏(実績)と比較すると384便増

○ 運営開始後、新規就航会社15社、新規路線18路線

※2019年夏スケジュール(計画)。

※関西エアポートにおいて、新規路線就航促進に向けた着陸料割引等を実施。